

No.とプログラム名	No.4 「科学」 ってなんだ？
実施日・回数	8月7日（水）10:30～12:00 計1回実施
会場	【磯子区】はまぎん こども宇宙科学館 会議室
参加児童数	9人
企業・団体等名	はまぎん こども宇宙科学館
参加の目的 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none">・参加者に学びや発見のきっかけを提示するようなプログラムを創出し、科学に親しむ機会を設けることで、科学館として社会に貢献したいと考えたため。・日常生活に関連した科学の一端に触れてもらうため。・科学館および科学館スタッフの仕事を紹介するため。

■ プログラム内容

科学館および科学館で働くスタッフの役割について紹介した。

その後、「浮力」をテーマにした実験を通して、「仮説を立てる→実験をする→結果を得る→考察し結論を出す」という流れを体験した。

科学とは、自然界の「なぜ？」を探求していくものであること、そして今回取り上げた浮力などの自然界の法則は、今日体験したような実践を繰り返して明らかにしてきたものの積み重ねであることを学んだ。最後にまとめをして、今日学んだことを一人ずつ発表した。

■ 当日の流れ

科学館の紹介や参加者同士の自己紹介をした後、「浮力」がテーマの実験を科学館スタッフが実演した。次に、参加者自身による「浮力」の実験の時間を設け、グループごとに実験や観察を進めた。最後に、今回の実験を通してどのような気づきがあったか、参加者一人一人に振り返ってもらい、全員で発表を行った。



実験の詳細を記録する様子

■ 参加児童の様子や意見、感想など

参加者は始めは緊張した様子だったが、浮力の実演が始まると、各々予想をしたり活発に発言したりするようになった。その後、グループに分かれて実験をした際は、参加者一人一人が主体的に考え行動する姿が見られた。初対面・異学年という垣根を乗り越えて、互いに連携・協力していた。

参加児童からは、「知らなかったことを知れた」
「またいろいろなことをやってほしい」
「もっと実験を増やし、今日の水の実験も展示してほしい」との感想が寄せられた。



科学館スタッフによる
実験を観察する様子

■ 気付きや感想など

・実験結果等を書き込めるワークシートを参加者に配付し活用してもらった。参加者は熱心に書き込んでおり、主体的な学びにつながっている様子だった。

・実験を通して、参加者は驚きと発見が得られた様子であった。意欲・関心を引き出すプログラム内容を提示することができ、科学に親しむ機会としての目的を達成できた。

・なるほど！と理解が深まったり、こういう場合はどうなんだろう？と新たな疑問がわくなど、もっと知りたいという意欲が増した参加者もいた。参加者が今後は自分自身で探求・発展させていくことにもつながっていく内容であった。日常生活に関連した科学の一端に触れるという目的を達成できた。

・実験を中心に内容を構成したことで、参加者が受け身にならずに、自分で考え行動する姿勢を促進できたことが今回の気付きであった。より充実した内容にできるよう、関連した実験を提示するなど工夫したい。



参加者と対話しながら実験する様子